



# こだち News



## 目次

平成27年度  
事業計画 2

平成26年度  
臨床心理サー  
ビス事業統計 3

掲示板 4

## 巻頭言

## 心理臨床と安心・安全支援プロジェクト

NPO法人九州大学こころとそだちの相談室 理事長  
田嶋誠一

現在では臨床心理士の開業もずいぶん出てきた。それはそれで重要な活動であるが、多くの臨床心理士の力を結集することで、一人や二人の臨床心理士が街中で開業するのは異なる活動ができないかと考えて、九州大学の臨床心理学の教員と卒業生が協力してNPO法人九州大学こころとそだちの相談室「こだち」を設立した。

設立以来、縁あって8年間私が理事長を務めてきたが、このたび新理事長に黒木俊秀先生にお引き受けいただけることになった。退任にあたって、創立以来こだちの運営に携わっていただいた方々、そしてこだちを支えて下さった方々に深くお礼を申し上げたい。

理事長退任後は、「こだち」には顧問として、また新たにこだちの事業として始まる「安心・安全支援プロジェクト」のプロジェクトリーダーとして関わっていくことになった。

近年、教育・医療・福祉等のさまざまな領域で暴力が大きな問題となっている。折しも、2011年3月には未曾有の巨大地震と津波という大災害がわが国を襲った。さらには原発問題が追い討ちをかけている。この事態は、被災者の試練であるだけでなく、むしろ私たち人類の試練でもある。内的安心（心理的安心感）と外的安全（物理的安全）の双方を含む「安心・安全社会の構築」が、私たちの社会のもっとも重要なテーマとなってきたのだと言えよう。そうした認識から、2015年度から私をプロジェクトリーダーとして新たに「安心・安全支援プロジェクト」を立ち上げることになった。

私が暴力問題ないし安心・安全という問題に取り組み始めて、はや10年ほどになる。その経験から最近思うのは、「安心・安全」という視点から心理臨床を見直すことが必要なのではないかとということである。

逆に言えば、従来の心理臨床は「安心・安全」を自明のものとしてきた、換言すれば「安心・安全」は当然できあがっているものであると暗に考えてきたのではないだろうか。たとえ安心・安全が相談のテーマとなることはあっても、それはその人自身の内的心理的不安からくるものであって、現実的な不安ではないと暗に考えてきたのではないだろうか。そうしたことになったのは、心理療法というものが、悩みを抱えた人がお金を払って相談にくるという外来相談モデルないしクリニックモデルから始まり、長い間それが中心になってきたからではないだろうか。適切に悩みを自覚でき、相談意欲があり、お金を払える—そういう人たちはおおむね現実の安心・安全が脅かされることは少なかったため、現実の安心・安全は当然達成されていると暗に前提としてきたのではないだろうか。

しかし、臨床心理士が今や学校や施設や児童相談所など外来相談モデルだけでは通用しない現場に関わるが増えてきた。また、外来相談でも、現実の安心・安全に留意しなければならぬ相談が従来よりも増えてきたように思われる。そういう時代だからこそ、「安心・安全」という視点から心理臨床を見直すことが必要なのだと、私は考えている。

## 平成27年度の事務局

事務局の体制が次の通り変わります。

新理事長：

黒木俊秀

事務局長：

中村俊夫

相談室長：

増田健太郎

心理臨床部長：

姫島源太郎

事務局員：

高橋大樹

月岡寛子

宮原里依子

山口雄介

準事務局員：

香野有咲

土居良翼

堀内美穂

溝上夏帆

(五十音順)

どうぞよろしく  
お願いいたします。



# 平成27年度事業計画



当法人は「臨床心理サービス事業」「協働事業」「研究事業」「研修事業」の4つの枠組みで事業を展開しています。平成27年度の各事業計画をお知らせします。



## 臨床心理サービス事業

カウンセリングルーム「こだち」では、臨床心理士の資格をもつ相談員が、心理面接を担当しています。

家庭学習支援事業では、不登校や発達障がいを抱える児童生徒を主な対象として、主に臨床心理学を専攻している大学生・大学院生の家庭教師の派遣を行っています。家庭学習支援事業では「①家庭学習支援員の派遣」「②保護者相談」「③家庭学習支援員の資質向上（研修）」の3つを1セットとして行っています。

思春期居場所支援事業（ここりーと）では、不登校児童生徒やひきこもりの青少年を対象に、水曜日と金曜日の13時～16時にこだちのプレイルームを使ってフリースペース活動を行っています。スタッフ数名とゲームや折り紙、おしゃべりをしたり、ゆったりとした時間を過ごしています。また活動後にミーティングを行い関わり方などの話し合いをします。



## 協働事業

地域のニーズに応じて、カウンセラー・講師派遣事業を継続的に実施してきました。講師派遣に関しては好評のものも多く引き続き依頼が届いている機関も多くあります。

今年度も引き続き、大学生、社会人等を対象としたキャリア支援講義、ストレスケア講義の講師派遣を行っています。



## 研修事業

平成27年度は、下記の研修会を企画しています。年度途中にも研修会を企画・実施していきます。参加申込はこだちからのチラシやホームページにも掲載しておりますので、ご参照ください。



### ○こだちロールシャッハ研修会

本年度で7回目となるロールシャッハ研修会です。本年度は前半2回で基本の講義、後半の4回はロールシャッハ法の事例を継起分析を中心に見ていきます。スコアだけに終始しない、クライアントの内界を理解し味わっていくための一味違ったロールシャッハ研修会です。

### ○現場で使える臨床動作法 2015

平成23年度から開始し5回目の実施となります。成瀬先生を始めとした九州大学の教員が講師となり、臨床動作法の理論から実践までを共に学びます。

### ○セラピスト・フォーカシングワークショップ

12月5日（土）・6日（日）の2日間で開催予定です。初日はカウンセリングの基礎についてのレクチャーを、2日目はセラピスト・フォーカシングの実習を予定しています。

### ○QQ-Uアンケートの理解と活用・校内研修の方法

スクールカウンセラーを対象とする新たな研修会です。7月12日（日）に開催予定です。

### ○事例で学ぶテストバッテリー

今年度は、6月28日（日）に成人編を、11月15日（日）に思春期編を開催予定です。知能検査とロールシャッハ法を中心とした投映法でテストバッテリーを組んだ事例から、テストの読み解き方、活用の仕方について、高橋靖恵先生（京都大学）を講師にお招きして1つの事例を1日かけてじっくり学んでいきます。

### ○こだち精神医学講座

精神医学に関する研修会を開催します。ワークショップ形式で開催予定です。

# 平成26年度事業報告

「臨床心理サービス事業」「協働事業」「研修事業」の各事業ごとに平成26年度の事業報告を行います。

## ◇臨床心理サービス事業

こだちでは臨床心理士の資格をもった相談員の心理面接が事業の大きな柱となっています。平成26年度は108件のインテーク面接を実施しました。安定して毎年100件以上のインテーク面接が行われています。平成26年度の総面接回数は1,673回でした。近年は総面接回数が増加傾向にあり、臨床心理サービスに対するニーズの大きさと、当相談室が徐々に一般市民の皆様へ認知されてきていることが考えられます。

相談内容は、子どもや保護者の方の相談（不登校、発達の相談、親子関係、友人関係等）や成人の相談（家族関係、対人面での悩み、会社の人間関係、うつ等）と、多岐に渡る相談内容があり、医療機関と連携しながら面接を実施しているものも多くあります。面接の中で必要に応じて検査の実施等も行っています。また、福岡市内や県内はもとより、県外からも来談いただいています。

家庭学習支援事業にも例年通り多くの申し込みをいただき、派遣回数は286回となりました。平成26年度で5年目となったこだちゼミナールは、一般市民向けに実施しています。例年定員を超えた申し込みをいただいております。平成26年度も好評のうちに終了しました。思春期居場所支援事業（ここりーと）も九大の大学院生がスタッフとなり、安定した活動を行っています。

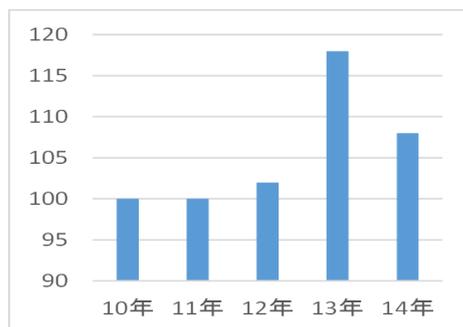


図1. インテーク面接件数の推移

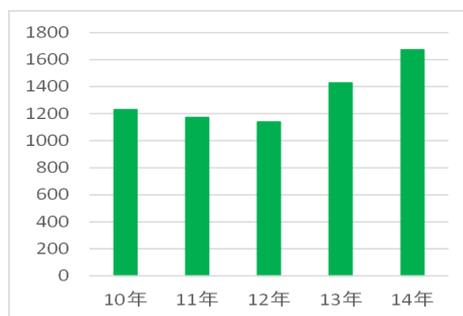


図2. 総面接回数の推移

## ◇協働事業

一般企業や行政・教育機関、病院等へ講師派遣を行い、平成26年度は10か所で研修会を行いました。好評をいただいております。また、人間関係を苦手とする専門学生へのグループワークを10回シリーズで行いました。

臨床心理学の知見を活用した地域社会への貢献を設立理念として挙げていますが、会員のみなさまのご協力から、地域の多くの企業、病院、学校とのつながりが広がってきています。



## ◇研修事業

平成26年度は「こだちロールシャッパ研修会」「セラピスト・フォーカシング研修会」を継続型の研修会として実施しました。また「現場で使える臨床動作法2014」「こだち精神医学講座」等のワークショップ型の研修会も企画・実施しました。

今後ともいろいろな研修会を企画・実施していきたいと考えています。研修会に関する感想やご意見をぜひお寄せください。

## ◇その他

第八回定時総会特別企画として、滝川一廣先生（学習院大学）をお迎えして公開スーパービジョンを開催しました。また、設立八周年記念講演会には村田豊久先生（児童精神科医）をお迎えして「自閉症スペクトラムの生涯発達」と題した講演会を開催しました。それぞれの会に、150名を超えるご参加をいただき、感想からも非常に好評をいただきました。

## 研修会のお知らせ

### —市民向け心理学講座— 「九大こだちゼミナール 2015」

九州大学の心理学を専門とする教授陣が「心理学・臨床心理学・精神医学 アラカルト」と題して講義や実習を行います。日程は以下の通りです。研修会の詳細をお知りになりたい方は、こだちにお問い合わせください。

第1回	6/20 (土)	14:00~16:00	第5回	10/17 (土)	14:00~16:00
第2回	7/18 (土)	14:00~16:00	第6回	11/14 (土)	14:00~16:00
第3回	8/22 (土)	14:00~16:00	第7回	12/12 (土)	14:00~16:00
第4回	9/26 (土)	14:00~16:00	第8回	1/23 (土)	14:00~16:00



# 掲示板

こだちよりお知らせ

## 書籍紹介

### 『カウンセリング実践の土台づくり

—学び始めた人に伝えたい

心得・勘どころ・工夫—』

吉良安之著 岩崎学術出版社

九州大学基幹教育院の吉良安之先生の近著です。本書は「カウンセリングの実習や実践を始めて間もない人から臨床経験10年くらいまでの人を対象にして、カウンセラーの土台づくりに役立ててもらいたいと考え、カウンセリングの心得や勘どころ、そして実践上の工夫を論じたもの」

(まえがきより引用)です。吉良先生の臨床のエッセンスを吸収するための秘伝の書と言えるかもしれません。ぜひご一読ください。



### 『臨床心理学 第15巻第2号

特集 シリーズ・今これからの心理職②

これだけは知っておきたい学校・教育領域で働く心理職のスタンダード』

金剛出版

学校・教育領域で心理職が活躍することが期待されています。社会情勢や教育制度の影響を受けながら変化していく学校現場の中で、心理職はどのような役割・活動を求められるのか？学校現場で役立つために身に付けるべき知識や技能とは何か？そして、それらを身につけるためのカリキュラム案とは？学校現場での心理臨床について包括的に学習できる一冊です。なお、当法人専務理事の増田健太郎が編集及び寄稿をしています。



### ○入会のご案内

こだちは今年で9年目を迎えます。地域に定着した心理臨床サービスを継続するには、収支の安定が求められます。NPO法人の会員となって私たちの活動を支えていただくと幸いです。会員になっていただける方はぜひこだちまでご連絡ください。なお、**会費は1年毎の更新制**です。よろしくお願いたします。

### ○ご支援のお願い

当NPO法人では会員以外の方からも、ご寄付をおまちしております。関心や興味をもたれた方はぜひご連絡ください。

**編集後記** 「応援よろしくお願致します、とは僕は絶対言いません。応援される選手であり続ける」とイチロー選手は言いました。イチロー選手を見習い、皆様から応援を頂くに値する事業を行えているかを自問しつつ活動して参ります。(Y)

## 交通のご案内 ■■■■■■



### ■■ 地下鉄でお越しの方 ■■

福岡市営地下鉄空港線西新駅下車後  
7番出口より徒歩にて約10分



## 特定非営利活動法人 九州大学こころとそだちの相談室

〒814-0002  
福岡市早良区西新2-16-23 九州大学西新プラザ内 産学交流棟

TEL 092-832-1345 FAX 092-832-1346  
HP <http://kodachi.or.jp/>